

大会日程 第1日 11月7日（土） B館1Fスタジオ（B100）

■受付開始 12時30分 B館入口

■公開講演会

13:30	開会の辞： 会長 植村幸生 開催校代表挨拶：東京音楽大学副学長 武石みどり	
13:35	シンポジウム 社会とつながる音楽・芸能—その伝統と創造— パネリスト：神野知恵、木村佳代、福田裕美、糺場富美子（発表順）	➡ 6
15:20	司 会：植村幸生	
休憩 10分		
15:30	公開演奏会 1. 交響譚詩—五重奏版— 伊福部 昭 作曲／小宮瑞代 編曲 2. 「日本とアジアの民謡・童謡」習作集 東京音楽大学大学院「多文化音楽研究領域」1年次	➡ 7
16:30	3. kazechiru 山岡秀和 作曲	

■田邊尚雄賞授賞式

16:40	第37回田邊尚雄賞授賞式	
17:00	受賞者 柳沢英輔 授賞対象 『ベトナムの大地にゴングが響く』（灯光舎、2019年11月）	

■定時社員総会

17:10		➡26
18:10	一般社団法人東洋音楽学会第9回定時社員総会	

大会日程 第2日 11月8日(日) A館1階 A100教室、2階A200教室

■受付開始 8時30分 A館1階オープンスペース

■研究発表会

研究発表 1	1-A (会場 A100) 司会：加納マリ	1-B (会場 A200) 司会：福岡正太
9:10 9:40	青木 慧 →9 江戸期吉原遊廓における音楽の実態— 音楽レパートリーと音楽文化事情を江 戸文学にみる—	岸 美咲 →12 中部ジャワのスラカルタの国立芸術大 学設立の草創期におけるダランの技術 継承—ASKIダラン専攻科の事例から —
9:45 10:15	仲辻真帆 →10 明治期の東京音楽学校とオペラ上演 —《オルフォイス》を巡って—	神野知恵 →13 大正・昭和の旅する神楽師たちの暮ら し—伊勢大神楽講社森本忠太夫社中の 出納帳の分析研究—
10:20 10:50	金 志善、金 昭賢 (非会員) →11 植民地朝鮮における在朝日本人と文楽 —『京城日報』記事による1920年 の公演を中心に—	由比邦子 →14 東アジアと東南アジアの“鳳首箏篋”の 系譜

10:50~11:05 休憩 (15分)

研究発表 2	2-A (会場 A100) 司会：野川美穂子	2-B (会場 A200) 司会：植村幸生
11:05 11:35	吉岡倫裕 →15 木食朝意の評価の再検討	東田範子 →17 地方様式が意味するもの—カザフ伝統 音楽にみる地域性と間民族性—
11:40 12:10	高瀬澄子 →16 『顧誤録』『学曲六戒』は『歌道要法』 に影響を与えたか	鈴木麻菜美 →18 宗教的自文化表現の上演—アレヴィー のセマーとその実践の場に注目して—

12：10～13：10 昼食休憩（60分）

研究発表 3	3-A（会場 A100） 司会：奥山けい子	3-B（会場 A200）
13：10 13：40	丹羽幸江 ➡19 《松浦》以降の世阿弥自筆譜における 旋律記号の早歌からの摂取	
13：45 15：15	[共同発表] ➡20 遠藤 徹 （代表）、 比嘉 舞 、 山田淳平 大嘗祭の音楽	[共同発表] ➡21 マット・ギラン （代表）、 遠藤美奈 、 福本康之 （非会員）、 ディスカッサン ト：大内 典 宗教共同体の音楽—近代日本の仏教界 を例に—

15：15～15：30（15分）

研究発表 4	4-A（会場 A100） 司会：奥中康人	4-B（会場 A200） 司会：早稲田みな子
15：30 16：00	宮川 渉 ➡22 リディアン・クロマティック・コンセ プトと武満徹についての研究	曾村みずき ➡24 1940年代のラジオ放送にみる近代琵琶 界の動向—戦後の琵琶界再興への過程 に注目して—
16：05 16：35	土田まどか ➡23 音楽研究と遊び論の接合に向けて	小日向英俊 ➡25 放送番組におけるインド音楽の受容と イメージ形成—NHK番組アーカイブ ス学術利用トライアルから—

16：40

■閉会の辞（大会実行委員長）小日向英俊 A200